

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス LEIF西宮		
○保護者評価実施期間	2026年 1月23日 (金)		2026年 2月 2日 (月)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57名	(回答者数) 48名
○従業者評価実施期間	2026年 1月26日 (月)		2026年 2月 9日 (月)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日 (月)		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員同士が話やすい環境	指導員の年齢層が近く、日常的に意見交換や相談がしやすい風通しの良い職場環境。気になることや支援方法について気軽に共有できるため、子どもの様子をチームで考えながら支援を行うことができる。	話しやすい環境を活かしながら、記録方法や振り返りの仕組みを整え、情報共有の質を更に高めることで、支援の統一性と専門性の向上に繋げる。
2	子どもや保護者に寄り添う力	個別支援計画を基に、1人ひとりの特性や課題に応じた支援を実施している。 送迎の受け渡し時、電話、面談等で、細目に保護者様のニーズやご家庭、学校等の状況を聞き取り、生活・環境状況を踏まえながら、寄り添った支援を意識している。	関係機関との連携や職員研修を強化し、より専門性の高い支援を提供できる体制を整え、引き続き安心して通所してもらえるような環境づくりに努める。
3	サッカーの療育メニューが充実している	児童発達管理責任者、サッカー経験のある指導員、心理指導担当職員、児童指導員等、様々な職員の意見を取り入れ、運動能力だけではなく、協調性・社会性・自己肯定感の向上を目的とした多様な活動メニューを実施しています。 子どもの発達段階や体力に合わせ、成功体験を積める活動メニューを意識しています。	活動の幅を更に広げるとともに、支援効果の見える化や振り返りを行い、より質の高い療育へと繋げる。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導員の経験値の差への対応	若い指導員が多く、福祉・療育分野での経験年数に差があるため、支援の引き出しや対応力に個人差が見られることが課題。	定期的な研修や事例共有、振り返りの機会を増やし、知識・支援スキルの底上げを図る。また、指導員同士で支援方法を学び合える環境を整え、チーム全体の専門性向上に繋げる。
2	保護者への視覚的な情報発信	日々の様子は口頭や文章での共有が中心となっており、活動内容や成長の過程が視覚的に伝わりにくい面があることが課題。	SNSの投稿頻度を上げたり、投稿内容の工夫を行い、子どもたちの様子や成長がより分かりやすく伝わるように改善していく。
3	夏季における室内活動の充実	室内スペースに限りがあるため、夏季や天候不良時に活動内容が制限されやすい状況があることが課題。	室内でも実施できる活動メニューのバリエーションを増やし、限られた空間でも安全且つ充実した活動が行えるように工夫していく。 また、活動内容の事前準備や環境設定を見直し、活動の質の向上に努める。